

令和3年度 大東小学校関係者評価書

4段階評価 「4」～期待以上 「3」～ほぼ期待どおり 「2」～やや期待を下回る 「1」～改善を要する

観点	重点目標	評価指標（目指す児童像）	学校の自己評価	自己評価		学校関係者評価					
				学校	総合	評価	コメント				
知に 関する 内容	1 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。	意欲的に授業に参加する児童 <アンケート>	感染症拡大防止のため、これまでの授業スタイルから大きな改革が必要となった。それぞれに配付されたタブレットPCを活用して、協働学習を行わせるなど、学校全体で工夫してきた。今後も習熟等も含めて、うまくICTを活用していきたい。	3	3	3	コロナ禍での難しさもあったかと思うが、タブレットPCなどのICT活用が図られたのは良かった。視野も広がるのではないかと感じた。子ども達も楽しく前向きに取り組む姿が見られた。				
		算数の単元テストにおいて平均到達率80%以上の児童 <評価テスト>		3							
	2 望ましい学習習慣の定着を図る。 ※ 学びの約束7か条の徹底 ※ 評価方法は全てアンケート	授業の準備をきちんとし、チャイム黙想をする児童		「大東小学びの約束」は全体としてよく理解はできているが、定着しているとは言い難い。今後もさらに意識付けを図る指導を繰り返していくとともに、内容を見直し、精選していくことも必要だと考えている。特に返事については、今後も重点的に指導していきたい。 家庭学習については、それぞれの学年の実態に応じて工夫して取り組ませている。家庭学習の必要性や意味など、家庭との連携を図ることで、一層の充実を図りたい。				3	3	3	子どもたちの様子を見る限り、よくできていると思う。 学力について、年々向上していると感じるが、基礎学力の定着に向けては、今後もさらに努力していただきたい。力を出し切れていない子どももいるかもしれないので、様々な工夫を行うことで一人一人の力を引き出してあげてほしい。
		話を聞くときは、立腰の姿勢で静かに最後まで聞く児童						2			
		質問には、はっきりと返事や反応を返す児童						2			
		ノートを素早くていねいに書く児童						2			
		印を付けたり、図や絵を描いたりして、問題を正しく理解する児童						3			
		粘り強く考え、自分の考えを文字・数字・図や絵などでしっかり残す児童						2			
	進んで手を挙げ、全員に届く声で最後まで発表する児童	3									
	3 読書活動の充実を図る。	目標冊数を読む児童 (低…100冊 中…80冊 高…60冊) <記録>		各学年読書の時間等を十分に確保し、本に親しませている。学年が上がるにつれて、目標冊数のみにこだわらずに、本の内容等にも意識を配り、読書の幅を広げていきたい。				3	3	3	デジタルが普及した現代社会においてこそ、本への親しみを育ててほしい。読書習慣を身に付けるために、継続して取り組んでほしい。また、読書の中身も充実してほしい。

観点	重点目標	評価指標（目指す児童像）	学校の自己評価	自己評価		学校関係者評価					
				学校	総合	評価	コメント				
徳に 関する 内容	1 希望とやる気が育つための教育活動の推進と支援体制の構築を図る。	自分のことを好きな児童 <アンケート>	今年度も各月の重点目標と委員会活動を結びつけることで、児童の主体性、積極性を伸ばそうと、取組を続けている。オンライン集会での工夫などもあり、児童もよく考えて活動する姿が見られる。 自己肯定感を育んでいけるような児童への声掛けや関わり方について、職員全体でも高い意識をもって取り組もうと努めているところである。	3	3	3	コロナ禍での当番や委員会活動は大変だが、オンラインでの実施など工夫されていて良い。日々の学校生活を今後も充実させてほしい。 心を育てる「徳育」については、オンラインでどのように進めていけるのか、検討してほしい。				
		当番や委員会の仕事を主体的にする児童 <アンケート>		3							
		将来の夢をもっている児童 <アンケート>		2							
	2 ルールやマナーを守る態度の育成を図る。	かかとをそろえ、靴を並べる児童 <アンケート>		元気なあいさつについては、くり返し指導を続けている。委員会からも呼びかけて、さらに良くしていきたい。「さん」付けは少しずつ意識できるようになってきた。友達への言葉かけ、優しいものの言い方についてを含めて、学校全体で指導を繰り返していく必要がある。				3	3	3	ルールやマナーを守ることの大切さなど、人のかかわりの中でどのように育てていくのか、長期的な展望をもって取り組んでほしい。 保育園でも連携して取り組んでいきたい。
		廊下の右側を歩く児童 <アンケート>						3			
		無言で掃除をする児童 <アンケート>						4			
		自分ら進んであいさつをする児童 <アンケート>						2			
		「さん」をつけて名前を呼ぶ児童 <アンケート>						2			
	3 よりよい人間関係づくりができる児童の育成を図る。	誰とでも同じように仲良くする児童 <アンケート>		心のアンケート→教育相談→チャレンジ会議の時間を毎月確保し、職員全体で気になる児童についての共通理解を図るようにしている。教育相談の時間をさらに充実させていく。				3	3	3	難しい課題だが、学校と家庭が連携しながら取り組んでいくことで、子どもたちを育てていくしかないと思う。人の痛みがわかる子どもに育ててほしい。
		いじめ（意地悪や悪口を含む）をしない児童 <アンケート>						3			

観点	重点目標	評価指標（目指す児童像）	学校の自己評価	自己評価		学校関係者評価	
				学校	総合	評価	コメント
体 に 関 す る 内 容	1 基本的な生活習慣を身に付けた児童の育成を図る。	早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて登校する児童 <アンケート>	朝ごはんは全体としてきちんと食べてきているが、食べずに登校している児童も数名おり、気になるところである。家庭と連携しながら声掛けを続けていきたい。ノーメディアデーには熱心に取り組んでいる児童も多く、さらに呼びかけを続けていく。	3	3	3	家庭での取り組みが何より重要になってくるのではないかと思う。連携を図りながら、継続的に指導を続けてほしい。
		ノーメディアの日に取り組む児童<アンケート>		3			
		弁当の日に取り組む児童<記録>		3			
	2 学年や個に応じた体力づくりの推進を図る。	体育の時間に一生懸命運動する児童<アンケート>	体を動かすことが好きな児童は多く、積極的に運動に取り組んでいる。一方で、感染予防のため、昼休みをカットしたり、体育の時間も制限のある中での運動となったりした。児童の体力低下につながらないように、無理のない範囲で運動に親しむことができるように、体育の授業を中心に工夫していく。	4			
		体力向上のための運動に積極的に取り組む児童<アンケート>		3			
		晴れた日は歩いて登校する児童<アンケート>		2			
		毎日元気に登校する児童<欠席者数調査>		3			
	3 日常的な保健・安全指導の充実を図る。	自分の体のことを知り、悪いところを進んで治療する児童<むし歯治療率>	感染症予防については、学校全体でくり返し指導している。手洗い、手指消毒、マスクの着用など、児童らもきちんと意識して過ごせるようになってきたところである。行事等の実施については家庭に理解をいただきながら、工夫して取り組んでいる。	3			
		けがをせず、安全に気をつけて学校生活を送る児童<保健室利用状況>		3			
早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて登校する児童<アンケート>		3					
教 育 環 境 に 関 す る 内 容	1 小中高一貫教育、保小小（大東中央保育園・大東小・大平小）連携の推進を図る。	近隣の保育園や小学校と連携して教育活動に取り組む学校<アンケート>	コロナ禍で実施が難しい面もあったが、機会を見て合同研修会や集合学習を実施することができた。今年度実施できなかったものについても、引き継ぎ等をしっかりとしていく必要がある。 くしま学の充実については、今後も内容をふり返りながら、さらに深めていきたい。	2	2	3	感染症対策等、いろいろと対応が大変だったかと思う。そんな中で、少なからず合同研修会や集合学習が実施できたのは素晴らしい。引き続き充実した連携を図ってほしい。小中高一貫教育の中で、子ども達には目標を見つけてほしい。
		市内の中学校、高等学校と連携して串間の人づくりに取り組む学校<アンケート>		2			
	2 地域学校協働活動の推進を図る。	地域と連携して教育活動に取り組む学校<アンケート>	地域行事への参加は厳しく、地域連携という部分では十分とは言えないが、授業づくりの中で地域人材の活用や、施設の見学等、いろいろとご協力いただいている。	2			
		地域に貢献する学校<アンケート>		2			
	3 開かれた学校づくりの推進を図る。	前年度の学校評価を生かす学校<教育課程>	定期的にホームページを更新したり、安心メールで保護者と連絡を密に取り合ったりして、積極的な情報発信に努めてきた。学校参観日やオープンスクールも計画的に実施し、開かれた学校づくりに向けて取り組んできた。 職員の資質向上に向けて、特にICTの活用についてくり返し研修を行った。コンプライアンス順守も含めて、地域からの信頼を得られるように、今後も努力を続けたい。	3			
		積極的に情報発信をする学校<アンケート>		3			
		地域から信頼される学校<アンケート>		3			

観点	重点目標	評価指標（目指す児童像）	学校の自己評価	自己評価		学校関係者評価	
				学校	総合	評価	コメント
教 育 環 境 に 関 す る 内 容	1 小中高一貫教育、保小小（大東中央保育園・大東小・大平小）連携の推進を図る。	近隣の保育園や小学校と連携して教育活動に取り組む学校<アンケート>	コロナ禍で実施が難しい面もあったが、機会を見て合同研修会や集合学習を実施することができた。今年度実施できなかったものについても、引き継ぎ等をしっかりとしていく必要がある。 くしま学の充実については、今後も内容をふり返りながら、さらに深めていきたい。	2	2	3	感染症対策等、いろいろと対応が大変だったかと思う。そんな中で、少なからず合同研修会や集合学習が実施できたのは素晴らしい。引き続き充実した連携を図ってほしい。小中高一貫教育の中で、子ども達には目標を見つけてほしい。
		市内の中学校、高等学校と連携して串間の人づくりに取り組む学校<アンケート>		2			
	2 地域学校協働活動の推進を図る。	地域と連携して教育活動に取り組む学校<アンケート>	地域行事への参加は厳しく、地域連携という部分では十分とは言えないが、授業づくりの中で地域人材の活用や、施設の見学等、いろいろとご協力いただいている。	2			
		地域に貢献する学校<アンケート>		2			
	3 開かれた学校づくりの推進を図る。	前年度の学校評価を生かす学校<教育課程>	定期的にホームページを更新したり、安心メールで保護者と連絡を密に取り合ったりして、積極的な情報発信に努めてきた。学校参観日やオープンスクールも計画的に実施し、開かれた学校づくりに向けて取り組んできた。 職員の資質向上に向けて、特にICTの活用についてくり返し研修を行った。コンプライアンス順守も含めて、地域からの信頼を得られるように、今後も努力を続けたい。	3			
		積極的に情報発信をする学校<アンケート>		3			
		地域から信頼される学校<アンケート>		3			